

# 小児肝脾損傷患者の自然経過と治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年11月25日～2024年8月31日

〔研究課題〕 小児鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と診療パターンの検討：多施設後ろ向き観察研究

〔研究目的〕 小児において、鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と診療パターンについて記述します。また、各種検査方法・治療方法と治療成績との関連について検討します。

〔研究意義〕 小児の肝脾損傷患者さまにとって、最適な検査・治療方法が何なのかについての国際的な議論に貢献したいと考えています。

〔対象・研究方法〕 16歳以下の小児で、鈍的外傷にて脾損傷および肝損傷を負われ入院治療を受けられた患者さまを対象に、すでに治療を終了した方のカルテ情報（診療録）を用いて過去に遡って検査結果や治療の内容などのデータを抽出し収集を行います。日本外傷学会多施設委員会主導で、研究協力をいただいた施設と共同で日本各地の施設からデータ収集を行います。

〔研究機関名〕 沖縄県立中部病院（代表）、順天堂大学医学部附属浦安病院、東北大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、大阪大学医学部附属病院、北海道大学病院、岡山大学病院、岡山赤十字病院、りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センター、徳島赤十字病院、神奈川県立こども医療センター、兵庫県立こども病院、帝京大学病院、他、全国55施設。

〔個人情報の取り扱い〕 研究実施に係るデータを取扱う際は、患者さまの個人情報とは無関係の番号を付して対応表を作成し、匿名化を行い患者さまの秘密保護に十分配慮します。対応表はデータ管理責任者が医局内施錠可能な事務机引き出し内に保管します。また、研究の結果を公表する際は、患者さまを特定できる情報を含まないようにします。データは研究代表施設に集められ、参加施設で二次利用される可能性があります。

〔その他〕 特記事項なし。

対象になる患者さままたはご家族の方で、ご自身またはお子さまの検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

所属長：坂本